

コロナ禍において学び続けるために ～生涯学習県民大学講座～

かごしま県民大学中央センター

「かごしま県民大学中央センター」とは

本センターは、県教育委員会の出先機関で、本県の生涯学習推進のための中核施設として、かごしま県民交流センター内に設置されています。

市町村、大学、関係機関・団体等との連携を強化しながら、調査・研究、学習機会の提供、学習情報の提供等を行っています。

「生涯学習県民大学講座」とは

市町村や大学等と連携して、現代的課題や市町村が抱える課題を解決するために実施する講座です。今年度は県内13市町で28の講座を計画しています。また、昨年度から新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、状況によってオンラインで実施しています。

今回は、6月6日(日)に実施した「子育て・家庭教育」についての二つの講座を紹介します。本センターにお越しいただいた講師と瀬戸内町を結んだオンライン講座です。

オンライン配信による講座

令和3年6月6日(日) 瀬戸内町会場

「子どもはのびのび育てよう～アドラーに学ぶ～」 鹿児島純心女子短期大学 河野 一典 教授

子どもとどう向き合うか。河野教授は、アドラー心理学を基に、教育の目的は「自立」で、他者は「仲間」であり、横の関係がよい人間関係を作り、親子関係も同様であると説かれました。

また、賞罰による評価ではなく、他者への貢献や自身の達成感から、自己肯定感を高められるように促すことが大切だと語られました。



【オンライン講義中の河野教授】



【瀬戸内町会場】

「子どもの「こころ」と「からだ」のサイン ～コロナ禍におけるストレス対処法～」 鹿児島女子短期大学 松元 理恵子 教授

松元教授は、コロナ禍で心身にストレスを抱える子どもとの接し方について、子どもにわかる言

葉で社会の状況を説明すること、不安感をあおる情報から遠ざけること、不安や恐怖による差別や偏見について親子で話すこと等、具体的な対処法



【オンライン講義中の松元教授】

を示されました。また、子ども自身がストレスへの対処法を学んでいけるように一緒に考えることが重要だと語られました。講座後は参加者らと意見交換を行いました。

今年度の生涯学習県民大学講座案内

従来の県内各地での講座開催に加え、県内外の現地と本センター会場を結んでのオンライン講座(龍郷町：7/31、岐阜県：11/7)や先進的でモデル的な内容のアドバンス型の講座(10/17)を予定しています。その一つを紹介しします。

議論を描いて促す「グラフィックレコーディング」をやってみよう!

アラウス 代表 関 美穂子氏

【日時】10月17日(日) 13:00～16:15

【場所】かごしま県民交流センター

グラフィックレコーディング(通称:グラレコ)をご存知ですか?グラレコは、話の内容をその場でリアルタイムで視覚化する技術です。話の流れや要点が見える形で共有することで、会議でアイデアが出やすくなったり、話をまとめたりする助けになります。職員会議や職員研修等の場だけでなく、課題解決学習のツールとして、授業の中でも役立つはずですよ!ぜひ参加してみませんか?

受講申込受付中

「生涯学習県民大学講座」は、無料でどなたでも受講できます。

講座一覧等の詳細は、ホームページを御覧ください。

【申込・問合せ先】

かごしま県民大学中央センター

TEL 099-221-6604

FAX 099-221-6640

生涯学習県民大学講座

検索

